

R.I.District 2670 高松南ロータリークラブ

7月号



Monthly Report

ホームページ <http://www.takamatsu-south-rc.com/>

2024 - 2025

ロータリーのマジック

RI会長：ステファニーA. アーチック 会長：多田耕三 幹事：松木リカ

例会場/JRホテルクレメント高松3階「玉藻の間」 毎週水曜日 12:30~13:30



2024-25高松南ロータリークラブ 委員会組織

理事会

| | | | | | | | |
|-------|-------|------|-------|--------|-------|--------|-------|
| 会長 | 多田 耕三 | 副会長 | 田中 弘之 | 会長エレクト | 藤田 徳子 | | |
| 幹事 | 松木 リカ | 副幹事 | 森 敬介 | | | | |
| SAA | 吉田 直由 | 副SAA | 今城 広治 | 田村 禎啓 | | | |
| 会計 | 白鳥 一雄 | 職業奉仕 | 吉田 茂 | 社会奉仕 | 篠田日出海 | 国際奉仕 | 中村耕太郎 |
| 青少年奉仕 | 宮本 直樹 | 直前会長 | 熊田 浩 | 戦略計画 | 詫間 行芳 | 研修リーダー | 中村 秀明 |

委員会

| 委員会 | 委員長 | 副委員長 | 委員 |
|---------------|-------|-------------|---|
| クラブ奉仕 | 藤田 徳子 | | |
| プログラム | 篠田日出海 | 吉田 直由 | 楠木泰二郎 |
| 出席 | 村上 達郎 | 堀川 満弘 | 上野 賢司 |
| 会員増強・職業分類 | 吉田 直樹 | 白井 克彦 | 牟禮 昌史 田中 秀樹 |
| 会員選考・ロータリー情報 | 岡林 正文 | 森 恒弘 | 向井 攻一 |
| 会報・広報・雑誌 | 増尾 茂之 | 谷東 伸浩 | 住田 英樹 山田 哲弥 |
| 親睦活動 | 濱川 義弘 | 平井 信一 杉元 幹史 | 白井 克彦 谷本 昌英 上村 光男 小倉 昌治 三木 哲郎 香西 一寿 黒渕 忍 大隅 直人 古永家 亮 松井 勝也 |
| 鎌倉芳太郎顕彰プロジェクト | 堀 祥二 | 佃 昌道 | 豊田 章二 |
| 職業奉仕 | 吉田 茂 | 森 敬介 | 三宅 弘 |
| 社会奉仕・環境保全 | 篠田日出海 | 木田 一彦 | 板坂 直樹 |
| 国際奉仕 | 中村耕太郎 | 熊田 浩 | 大橋 泰範 Masoud Sobahani |
| ロータリー財団 | 岡 佳寿也 | 前田 恭典 | 山門 康一 |
| 米山奨学 | 岡 隆夫 | 吉田 茂 | 山地 真人 渡辺成剛 |
| 青少年奉仕・ロータアクト | 宮本 直樹 | 田中 理 | 小野 兼資 |
| SAA | 吉田 直由 | 今城 広治 田村 禎啓 | |
| 会計 | 白鳥 一雄 | | |
| 会計監査 | 宮城 直樹 | | |
| 戦略計画 | 詫間 行芳 | 田中 弘之 | 豊田 章二 岡林 正文 篠田日出海 今城 広治 田村 禎啓 白井 克彦 熊田 浩 多田 耕三 |
| 研修リーダー | 中村 秀明 | | |

2023-24年度

6月5日 第44回

日時/令和6年6月5日(水)12:30~
場所/JRホテルクレメント高松

会長挨拶 会長 熊田 浩

今日は月初の例会でプログラムが盛りだくさんですので。ひとことだけ、お話しします。自動車メーカー5社の型式指定申請における不正行為についての報道がありました。いつもトヨタグループの話ばかりしていますが、今日はスズキの話です。スズキのプレスリリースは、強気の内容で秀逸です。2016年の燃費・排ガス試験にかかる不正行為の発覚以降、対策を徹底しているので、現在ではこのような不正は起きないと言い切っています。強気のプレスリリースの背景にある、スズキの品質に関する取り組みについて大変参考になるので、スズキのホームページの「品質」への決意の項目を、是非ご覧いただきたいと思ひます

客 話 自衛隊香川地方協力本部 本部長 上田俊博一等陸佐殿
能登半島地震について



現在の国際情勢で、ロシアによる侵略への対応でインド太平洋地域は核・ミサイル戦力などの軍備増強や力による一方的な現状変更の試みが進展している。

我が国は、国際安全保障の焦点であるインド太平洋地域の最前線に位置し、戦後の安定した国際秩序の根幹を揺るがしかねない深刻な事態が発生

する可能性が排除されない。

- ・ 統合・共同下における我が国に対する侵攻への対処
警察等の関係機関との連携
警戒監視・情報収集
同志国等との連携強化
平素の部隊配置と連携した動的な展開
- ・ 日米同盟による抑止力・対処力の強化
戦略対話、運用研究、共同訓練の有機的連携により、日米共同対処態勢を抜本的に強化
米陸分、米海兵隊との共同訓練による運用構想の検証、多国間訓練化
- ・ 望ましい安全保障環境の構築のための取組
ハイレベル交流、共同訓練、能力構築支援等により多角的・多層的な防衛協力・交流を推進
- ・ 人的基盤に係る現状等
技術の急速な高度化に適合できる人材を確保
高度な知識・技能、経験を有する人材の安定的な確保
一度離職した人材が再び戻ってこられる組織環境・制度を整備
処遇・生活・勤務環境の改善等（給与・手当等の処遇改善、生活・勤務環境の基盤整備、職業生活と家庭生活の両立支援、ハラスメント防止施策の見直し）
- ・ 派遣活動の状況
捜索救助・輸送支援、道路啓開・道路補修、倒壊家屋、土砂等の除去、物資輸送
孤立地域の解消、衛生・医療（診療）、患者輸送（医療施設間輸送）、入浴支援、給食・配食、給水

ニコニコ箱

白鳥会員「誕生日ありがとうございます。」
吉田直樹会員「誕生日のお祝いありがとうございます!」
浜川会員「女木島清掃でゴミのことを学びました。BBQ、釣りとお楽しみした一日となり、お土産に鯛をいただき、両親と美味しく食事ができました。中村耕太郎さん、田中理さん、皆さんありがとうございました。」
山門会員「お誕生日のお祝いありがとうございます。53歳になりますが、元気に頑張っていきますので引き続きよろしくお願ひいたします。」
田中理会員「お誕生日のお祝いありがとうございます。47歳、これから楽しく頑張ります。」
住田会員「誕生日祝いありがとうございます。」
詫間会員「お先に失礼します。」
計¥17,000 合計¥514,800

会員掲示板 ロータリーソング「ロータリー四季のうた」
ソングリーダー「三木会員」
●メークアップ/15名
●ビクター/0名

2023-24年度

第7回クラブ協議会・次年度第2回クラブ協議会
6月12日 第45回

日時/令和6年6月12日(水)18:30~
場所/JRホテルクレメント高松

会長挨拶 会長 熊田 浩



財務省の広報誌「ファイナンス」の5月号の巻頭言の一部を紹介しつゝ。一橋大学の楠木健特任教授が書いたものですが、『ビジネスというものはB to BだろうがB to Cだろうが、アメリカだろうが日本だろうが、人間が人間に対してやっている事。ビジネスで一番大切なものを一つだけ挙げろと言われれば、僕は「人間の本性に対する洞察」と答える。ビジネスの世界は変化が激しい。いつもバタバタしている。だからこそ「本性主義」の立場に立って物事を考える事が大切だ。「本性主義」は、人と人の世の中の変わらない部分に目を向ける。高浜虚子の名句に「去年今年貫く棒の如きもの」がある。そう簡単には変わらないもの、そこに本質がある。本質とは「貫く棒の如きもの」だ。変わっていく世の中で、変わらないものを見抜く。「貫く棒の如きもの」をわしづかみにする。そこに経営者の本領がある。』ここまで引用ですが、鎌倉駅構内に掲げられていた虚子の句を目にした、川端康成が「背骨を電流が流れたような衝撃を受けた」と言っています。私は、楠木教授の「本性主義」に同じような衝撃を受けました。楠木さんの「逆・タイムマシン経営論」が読みたくなりました。今日は、新年度の活動計画を披露するクラブ協議会です。変えるものも多くあると思いますが、変わらぬもの、新旧年度を「貫く棒の如きもの」を是非、わしづかみにして頂きたいと思ひます。

ニコニコ箱

岡(隆)会員「一日会熊田会長杯とったぞー!平井先生ありがとう!」
藤田会員「本日はお誕生日例会を開いていただきありがとうございます。次年度、クラブ奉仕委員会よろしくお願ひいたします。」
計¥4,000 合計¥554,800

会員掲示板 ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー「三木会員」
●メークアップ/9名
●ビクター/25名

2023-24年度

第8回クラブ協議会
6月19日 第46回

日時/令和6年6月19日(水)12:30~
場所/JRホテルクレメント高松

会長挨拶 会長 熊田 浩

今日は、司馬遼太郎の「21世紀に生きる君たちへ」というショートエッセイを紹介します。この随筆は、司馬遼太郎が小学生の国語の教科書のために書き下ろしたものだそうです。一部を引用します。『私は、人という文字を見るとき、しばしば感動する。斜めの画がたがいに支え合って構成されているのである。そのことでも分かるように、人間は、社会をつくって生きている。社会とは、支え合う仕組みということである。原始時代の社会は小さかった。家族を中心とした社会だった。それがしだいに大きな社会になり、今は、国家と世界という社会をつくり、たがいに助け合いながら生きているのである。自然物としての人間は、決して孤立して生きられるようにはつくりだされていない。このため、助けあう、ということが、人間にとって、大きな道徳になっている。助け合うという気持ちや行動のものととは、いたわりという感情である。他人の痛みを感じることに言ってもいい。やさしさと言いかえてもいい。「いたわり」「他人の痛みを感じること」「やさしさ」みな似たような言葉である。この三つの言葉は、もともと一つの根から出ているのである。根といっても、本能ではない。だから、私たちは訓練をしてそれを身につけねばならないのである。その訓練とは、簡単なことである。例えば、友達がころぶ。ああ痛かったらうな、と感じる気持ちを、その都度自分の中でつくりあげていきさえすればいい。この根っこの感情が、自己の中でしっかり根づいていけば、他民族へのいたわりという気持ちもわき出てくる。君たちさえ、そういう自己をつくっていけば、二十一世紀は人類が仲よしで暮らせる時代になるのにちがいない。』

子どもたちへ、人として最も大切な「思いやりの心」を身に着けるのに訓練が必要だと投げかけに感銘を受けました。国語の教科書として道徳的にも大変すばらしいと思います。福島県の喜多方ロータリークラブでは、この随筆をテーマに毎年読書感想文コンクールを開催しているそうです。「二十一世紀は人類が仲よしで暮らせる時代になるのにちがいない。」という部分は、現実はこの思いに遠く及びません。何故か。世界には「思いやりの心」を身に着ける前に、紛争や自然災害により、今日の食べ物を何とか確保しないと生きていけない人々が多数存在するという悲しい現実があります。「信頼できる団体」に浄財を託す事も「思いやりの心」を示す貴重な機会ですので、会員の皆さんに「ロータリー財団」への寄付をお願い申し上げて会長あいさつとさせていただきます。



ニコニコ箱

ソバハニ会員「徳島での地区大会記念ゴルフコンペで入賞しました。白井さん、田中理さん、宮本さんとがんばりました。来年も頑張ります。来年は香川です。おかげ様で。」

計¥2,000 合計¥556,800

会員掲示板

- メークアップ/5名
- ピジター/0名

ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー「村上会員」

2023-24年度

最終例会 故太田英章会員を偲ぶ
6月29日 第47回

日時/令和6年6月29日(水)12:30~14:30
場所/JRホテルクレメント高松

会長挨拶 会長 熊田 浩



本年度最終例会となりました。はじめに退会者を報告させていただきます。第59代会長の宮脇光男会員が今月末、退会されます。これから会社を後継者に引き継がれるようで、後継者が落ち着かれたタイミングで入会のお誘いをする事にしております。もう一方、四国電力の大西勸一会員が、本日付で昇進され、後任の松井勝也様に引き継がれます。後ほど、ご本人から退会の挨拶を頂きます。さて、私の会長あいさつも本日が最後になりますが、一年を振り返れば、住田幹事をはじめ多くの会員の皆様に支えられ、つつがなく会長職を務められました。苦しい事や、云いたい事、不満に思う事、腹の立つ事、泣きたい事も少なからずありましたが、山本五十六元帥は、これらをじっとこらえてゆくの男の修行であると言われたそうです。一年間、貴重な経験をさせて頂き、改めて会員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。来週からは、多田新会長のもと新しいクラブ運営がはじまりますが、引き続き、居心地の良いクラブであり続けるよう、直前会長としての務めを果たしていきたいと思っております。今日は最終例会ですが、4月2日永眠された故太田英章名誉会員の追悼例会とさせていただきます。このように多くの会員にお集り頂き、近年では、最多の出席者になったのではないかと思います。時間を十分とりましたので、太田さんが大好きだった高松南ロータリークラブの良さを改めて実感する例会となりますよう、皆さん大いに語り合ってください。



ニコニコ箱

自衛隊香川地方協力本部様

「卓話のお礼をニコニコにいただいております。」

田辺はまゆうロータリークラブ 山本様「熊田会長、住田幹事、一年間お疲れさまでした。色々とお世話になりました。ありがとうございました。次年度は少しゆっくりしてください。」

白井会員「太田さん、大変お世話になりました。太田さんが愛した高松南ロータリークラブを微力ながら盛り上げていきます。天国から見守ってくださいネ。」

大西会員「二年間という短い間でしたが大変お世話になりました。ありがとうございました。来月10月から私の後任の松井が参加させていただく予定です。私同様、どうかよろしくお願いたします。」

田中(理)会員「熊田会長、住田幹事、一年間お疲れ様でした。皆様も一日会のご参加ありがとうございました。次年度は9月より開幕です。山本さんもよろしくお願いたします。」

前田会員「太田さんを偲ぶ会ということで、私が入会したのが24年前ですが、その時太田さんにお会いして、まず眼光が鋭い人だと思い、またネクタイがいつも派手であった思い出がありました。お先失礼します。」

詫間会員「職業奉仕委員会、一年間お世話になりました。」
 宮本会員「一年間お世話になりました。」
 住田幹事「一年間ご指導ありがとうございました。来年度も皆様のご協力を願います。」
 小野会員「太田様、ご冥福をお祈りいたします。熊田さん、住田さん、お疲れさまでした。」
 堀川会員「お先に失礼します。」
 平井会員「欠席のお詫びです。」

谷本会員「熊田さん、住田さん、一年間お疲れさまでした。」
 計¥60,400 合計¥617,200

会員掲示板
 ●メークアップ/5名
 ●ピジター/0名
 ロータリーソング「それでこそロータリー」
 ソングリーダー「平井会員」

2024年7月 母子の健康月間

| No. | 日 | 時間 | 場所 | 例会プログラムおよびその他 | 備考 |
|-----|----|--------|--------------|---|-----------------------------------|
| 1 | 3 | 12:30~ | JRホテルクレメント高松 | 会長幹事就任挨拶 (クラブ運営方針発表) | 6月29日~7月16日 短期交換生RI2670内受入 |
| 2 | 10 | 12:30~ | JRホテルクレメント高松 | 第3回クラブ協議会 (5大奉仕委員長を中心として委員会活動計画を発表) | 12日~16日短期交換生香 川県内受入 |
| | 17 | | | 休会(定款第7条による) | |
| 3 | 24 | 12:30~ | JRホテルクレメント高松 | 卓話「短期交換リーダーのホストファミリー経験」 篠田日出海会員・中村耕太郎会員 住谷ガバナー補佐挨拶 定例理事役員会 | |
| 4 | 31 | 12:30~ | JRホテルクレメント高松 | 客話「『子育て県かがわ』をつくる ~母子保健の現状と取組み~」 香川県子ども家庭課青野美保課長補佐 | 7月30日~8月20日 短期交換生ニュージャージ 派遣 |

2024年8月 会員増強・新クラブ結成推進月間

| No. | 日 | 時間 | 場所 | 例会プログラムおよびその他 | 備考 |
|-----|----|--------|--------------|---------------|--------|
| 5 | 7 | 18:30~ | JRホテルクレメント高松 | 夏期家族例会 | (夜間) |
| | 14 | | | 休会 | 夏期休暇期間 |

編集後記

私たち人類は「火」とともに文明をつくり、歴史を刻んできました。そして、立って歩きはじめたことによって前足が自由になり、それが手の働きをするようになって、脳を大きく発展させた、とされています。火の技術の発展は、生存に必要な食料の入手に専念することを解き放ち、その土地を離れても生活できる術を得て、物を作る職人が生まれ、芸術、哲学、学問、科学技術の世界が広がって行きました。さらに、宗教改革、産業革命、あるいは戦争、コンピュータの発達などの社会環境の変化にともない、消えていく分野もあれば、新しく生まれいずる、あるいは変貌し続ける分野もあるでしょう。しかし、いつの時代も「仕事は人間がする、作

業はロボットがする」そこから生まれた脳の余裕のなかから「豊かな発想」へ、「逆転の発想」から「発想の逆転」へと進化して行きます。

あらゆる思考が人間社会の物心両面の豊かさを追い求めるロータリアンの思考のつながりを、いま「人類の進歩」から置き忘れつつある奉仕の理想を追い求めてみませんか。「ロータリアンには夢がある。奉仕活動の一つひとつに、どうしても叶えたい夢がある」

2024-2025年新年度のはじまりです。夢と情熱を併せ持つ奉仕のところがいっぱい詰まったロータリアンの集いをお知らせする会報です。ご高覧ください。

(編集子)